



2月社長定例記者会見 概要

2月26日午後3時から、テレビ佐々木社長、ラジオ三村社長、BS相子社長による定例記者会見が、TBS放送センターで行われました。概要は以下の通りです。

<佐々木社長所感・・・今年最初の定例会見にあたり>

まずは、感染が広がっている新型コロナウイルスについて。新型コロナウイルスは解明されていないことが多く、社会に不安や混乱を招いています。私たちメディア・報道機関としては、冷静かつ正確な報道に努めたいと思います。そんな責務を果たすためにも、私たち自身が、感染の拡大防止に努め、社員・スタッフやお客様がたの安全を確保する必要があります。当社でも対策本部を設置し、対応に努めているところです。社としての対策を怠ることなく、メディアとしての責務の遂行を目指してまいります。今年一年の所感で言えば、東京オリンピック・パラリンピックが控えています。先月になりますが、夕方に民放同時放送の番組を制作、放送しました。桑田佳祐さんが書き下ろしてくださった、“SMILE～晴れ渡る空のように～”、という素敵な楽曲もあります。スポーツコンテンツが持つ、世の中を熱くする力と、我々放送人冥利に尽きるというか、圧倒的大多数に同時に伝えられるテレビの力ですから、東京オリンピック・パラリンピック放送を目いっぱい頑張っていこうと思っています。通常一年の所感では個々の番組に触れることはあまりないのですが、極めて例外的に申しますと、なんといっても、今年は『半沢直樹』にドキドキします。クランクインしたと聞いていますし、どんな出来栄えになって、どんな台詞が飛び出すのか、楽しみです。

<編成関連>

2019年度通期これまでの視聴率は、全日・G帯が4位、P帯が3位、NP帯が5位という状況です。決して芳しい成績とは言えませんが、現在、各番組、視聴者の若返りを図るとか、家族で見ていただけるよう工夫をするなど、改善・改革を進めているところです。今クール、日曜劇場『テセウスの船』は、犯人に関する考察がSNS上でも活況となっていて、回を重ねるごとに数字を伸ばし、ベスト更新を続けています。また、火曜ドラマ『恋はつづくよどこまでも』も見逃し配信を含め、堅調に推移しています。私のようなオジサンがみても大変面白いと思うので、ある種不思議なドラマだと思います。そして、4月改編では、“家族で一緒に見られる”番組作りのために、タイムテーブルの強化を進める方針です。

<営業関連>

タイムセールスは、年始セールスが好調で、1月は前年実績を上回りました。喜ばしいことでしたが、一方でスポットセールスは、1月の東京地区投下が95.4%と大変低い数字で、当社も前年実績には届きませんでした。スポット量の低下は厳しい状況が続いていると感じています。

<事業関連>

TBS開局 70 周年記念公演として、世界的なヒットとなっている舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」を TBS 赤坂 ACT シアターを全面改修して、専用劇場としてロングラン公演することを発表しました。私自身もロンドンで記者発表に立ち会いました。リアルな空間ですが魔法がかかっている、「人が消えた」とか「燃えた」とか「宙に浮いた」など、イリュージョンのような工夫がたくさん凝らされている、面白いお芝居でした。TBSの社を挙げて取り組みます。2022 年から始まりますが、無期限ロングランというチャレンジをします。映画では、「スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼」が先週 21 日に公開、興収 およそ 3 億 6,000 万円(2/24 現在)と大変いいスタートを切りました。展覧会では、去年 11 月にスタートした「特別展ミイラ～永遠の命を求めて」(国立科学博物館)が最終入場者:46 万 350 人動員という空前の大ヒットで終了しました。

<ラジオ関連> TBS ラジオ 三村社長

TBS グループの「最高の“時”で、明日の世界をつくる。」というブランドプロミスを、ラジオメディアとしてどう表現し、使命を果たしていくか?その命題の一つの答えとして、TBS ラジオではこれまでの「聞けば見えてくる」というキャッチコピーに変えて、「何かが始まる音がする」というタグラインを設定・発信していくことを 1 月 1 日に発表しました。「明日の世界の音」が聴こえてくるようなラジオ局を目指します。「新しい体験」をキーワードに TBS ラジオの新タグライン「何かが始まる音がする」を体感する大型イベントとして立ち上げた「RADIO EXPO～TBS ラジオ万博 2020～」をパシフィコ横浜で開催しました。2 日間で 21,200 人ものお客様にご来場頂き、お客様の反応はすこぶる良く、初回の目的は十分達成できました。内容面・運営面で改善すべき点多々あり、次回に向けてプロジェクトメンバーで検証を進めています。番組についてのトピックスを 2 つほど。一つは 3 月 20 日(金・祝)の 11:00～15:30 に生放送で編成予定の『ラジコフェス』。radiko のサービス開始 10 周年をフューチャーしてお届けします。出演は爆笑問題を中心に、毒蝮三太夫、ジェーン・スー、玉袋筋太郎など多彩なラインナップを予定。二つ目は TBS ラジオオリジナルドラマ『半沢直樹 敗れし物の物語 by Audio Movie』。半沢直樹に「倍返し」され敗れ去った人々のその後を描くオリジナルストーリーを放送とインターネット配信で展開しています。

<BS 関連> BS-TBS 相子社長

今年 12 月に開局 20 周年を迎える BS-TBS では、今年 3 月から 2021 年 3 月までを 20 周年 YEAR とし、「感謝」と「挑戦」をテーマに様々な企画を放送してまいります。今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。4K 放送にとっては、更なる飛躍をする絶好の機会でもありますので、しっかりと準備をしてまいります。直近の課題としては、新型コロナウイルス対策にもしっかりと取り組みたいと考えております。開局記念スペシャル企画の第一弾として、3 月はパラスポーツに特化した企画を 3 夜連続で放送いたします。全て 4K 収録を行っておりますので、高精細な 4K 放送でもご覧頂けます。『パラスポーツが世界を変える～2020 から未来へ～』<3 月 13 日(金)よる 9 時～10 時 54 分>『パラスポーツへの理解を深める』をテーマに、多種多様なコーナーでパラスポーツの魅力を伝えてまいります。MC は恵俊彰さんです。『左手一本のシュート』<3 月 14 日(土)よる 9 時～10 時 54 分>ひとりのバスケ少年の強い想いが、『左手一本のシュート』の奇跡を生んだ実話をもとに描く感動の青春ドラマです。今人気絶頂の俳優・中川大志主演でお届けします。『伴走車』<3 月 15 日(日)よる 7 時～8 時 54 分>伴走者とブラインドランナーの熱くてひたむきな闘いを描く、走ることから生ま

れる愛と再生の物語です。初共演となる吉沢悠さん、市原隼人さんのダブル主演でお送りします。3作品は全て字幕も付与しており、ドラマ2本は解説放送も実施します。2月の営業状況です。放送収入は、対予算比 100.5%、対前年比約 97%の着地見込み。スポットが予算比・前年比とも 100%を超える見込みとなっております。要因は純広が増加したことと、通販スポットが好調だったことです。20周年特番3本のセールも好調で最終追い込み中です。事業では、『ボイメンステージ「諦めが悪い男たち」』。10代の女子を中心に人気を集め、名古屋のご当地アイドル BOYS AND MEN がサンシャイン劇場で初の連続舞台公演に挑みます。

以上